

この文書について 印刷して読んでください

以下の項目についての説明です。

A プログラムのはいったインストーラーファイルの取得と展開

B 以下の項目は不具合時に読んでください。

B Microsoft Access での「信頼できる場所」の設定
セキュリティ強化の中でプログラムを動作させるための対応

C 圧縮バックアップ、復元の不具合対策

D ナビゲーションウインドウの表示を格納する方法

E プログラムの関連付けを手動で正しくする方法

Access ランタイム(無償)を同時にインストールしたときに発生する場合があります。
その場合の対応

インストーラーファイルの取得

自己解凍形式のファイルが Windows のセキュリティ強化にともないダウンロードできないようになっていますので ZIP 圧縮ファイル形式に順次切り替えています。

A プログラムのインストール（新タイプ）

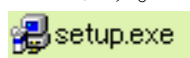
1 Access タイプ弊社プログラムにはマイクロソフト社の Access 2002～2016 いずれかの製品版か Access 2002～2016 ランタイム版が必要です。(Access 97、2000 では使用できません。)

このインストーラーでは、プログラム本体インストール後に続けて Access ランタイムのインストールもすることができますが、それをキャンセルすることもできます。

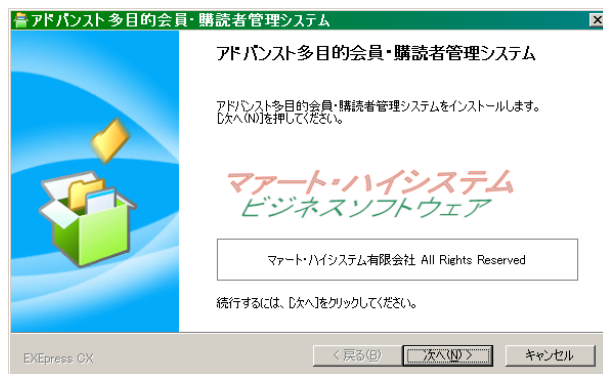
重要 Access 製品版をお持ちのユーザーは必ず、Access ランタイムのインストールはキャンセルしてください。Access 製品版をお持ちの方がもしランタイムをインストールすると重複するのでファイル作成などの機能が阻害される可能性がきわめて高いです。その場合、ランタイムをアンインストールしてから Access 製品版の再インストールをする必要があります。

ダウンロードファイルの展開とインストーラーの起動

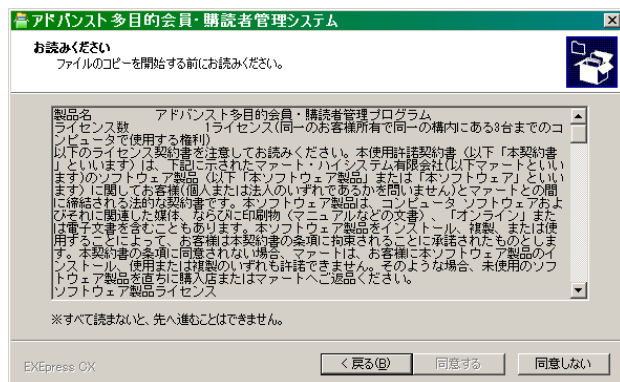
ダウンロードした ZIP 圧縮ファイルをダブルクリックすると関連ファイルのはいったフォルダーごとダウンロードしたファイルのあるフォルダーやドライブ直下に展開解凍します。(例 「アドバンスト多目的会員ランタイム ver600」といフォルダー)、そのフォルダーの中の setup.exe をダブルクリックします。



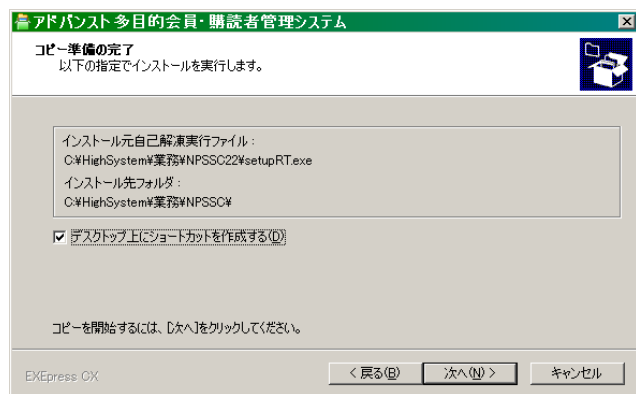
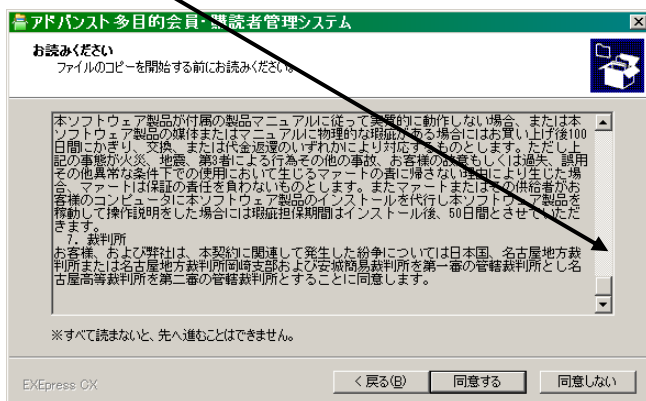
インストーラーの動作



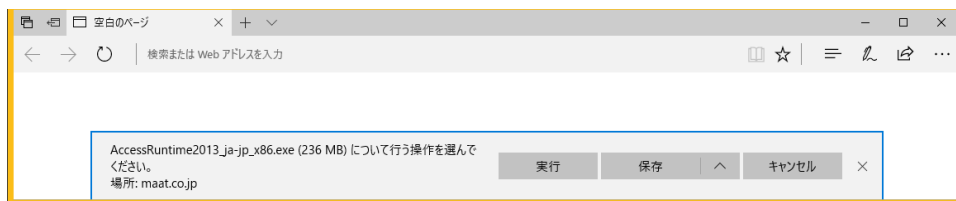
ここでは「アドバンスト多目的会員・購読者システム」を例に説明しますが、他の製品でもタイトルが異なる以外は同様の順序で操作します。「次へ」ボタンを押します。使用契約許諾書を表示します。「同意する」ボタンが使用不可状態です。



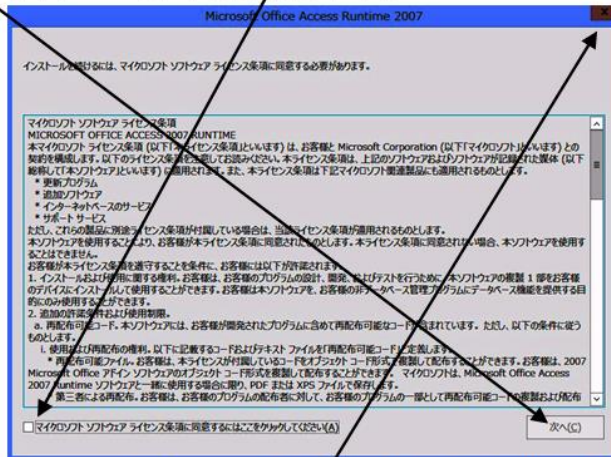
使用契約許諾書を一番下までスクロールして読まないで「同意する」ボタンが押せません。スクロールバー



「同意する」「次へ」と押していくとプログラムファイルをインストールしていきます。インストール完了すると続いて無料の Access ランタイムをダウンロードして実行(インストール)するか、否かの Microsoft Edge の画面が下部にでます。

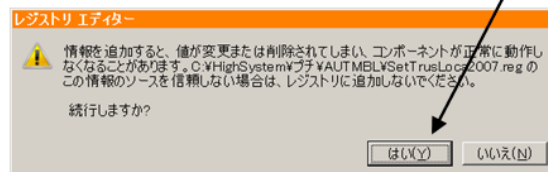


この後、マイクロソフトの Access Runtime (アクセス ランタイムモジュール 無料) のインストールを開始しますが、表示画面の下部で「**同意する**」をクリックしてから「**次へ**」ボタンを押すと開始します。

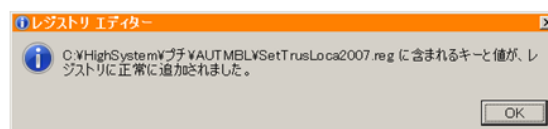


重要 Microsoft Access2007 以降の製品版 (有料) をお持ちの方はインストールの必要がないので必ずウインドウを閉じてキャンセルしてください。

続いて Access 用の「信頼できる場所」という設定をレジストリーに追加します。下図のメッセージには「はい」のボタンを押してください。



その後、次のメッセージで完了です。



注 Microsoft Access は各 Office 製品の Professional 版以上に含まれるか、単独の Access 製品版です。Office Standard 版や Personal 版には含まれていません。

Access 製品版をお持ちのユーザーは以下ランタイムのインストールは必ず、キャンセルします。

Access をお持ちでないユーザーはダウンロードして実行してから「同意する」をクリックしてから「次へ」ボタンを押して無料のランタイム版をインストールします。

ランタイムのファイルがインストールされていきます。

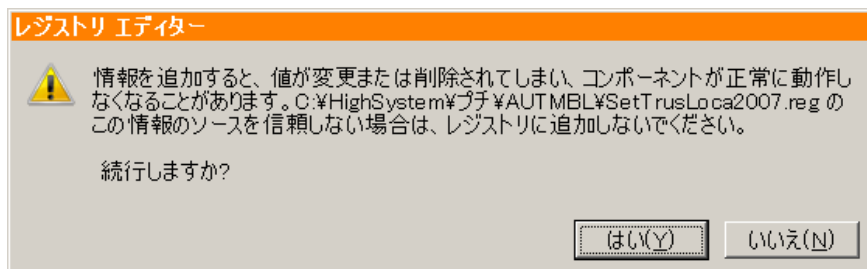
終了メッセージが出て完了です。

キャンセルの場合 ウインドウを閉じる×ボタンを押します。

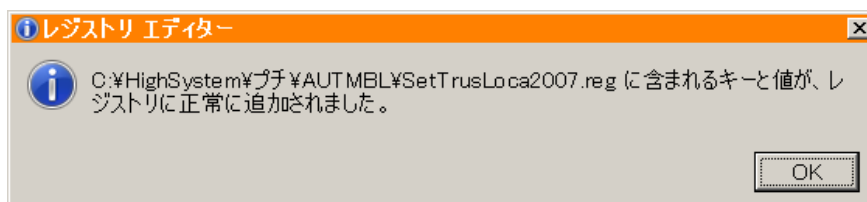
B Microsoft Access での「信頼できる場所」の設定

Access 2007 以降では「信頼できる場所」というものが設定されていないとマクロ(ビジュアル・ベーシックを含む)が禁止されます。この状態では弊社プログラムは動作しません。それを解除する方法です。インストール途中で設定されます。

Access 用の「信頼できる場所」という設定をレジストリーに追加します。これはインストールの途中で下図のメッセージがでますので「はい」のボタンを押してください。



その後、次のメッセージで完了です。



インストール時にこれをキャンセルした場合はインストール先のフォルダーに

「SetTrusLocaAll.reg」という名称のファイルがあるのでダブルクリックしてください。

「信頼できる場所」は Access 2007 と 2010、2013、2016 では異なりますが、これによりローカルパソコン(本プログラムをインストールしたパソコン)の「C:\HighSystem」フォルダーとそのサブフォルダーすべてについて指定されます。

ただし LAN で接続するサーバーはサーバー名で「信頼できる場所」を指定しなければなりません。サーバー名はそれぞれのユーザーで異なり弊社で把握できないので指定できません。

重要 LAN で接続するサーバーを「信頼できる場所」に指定するレジストリー設定ファイルは別途有料で弊社において作成できます。その場合はサーバー名称などを連絡してください。必要な情報をもとに作成します。費用は 1 サーバーあたり 10000 円(税込み)です。

下記メールアドレスで連絡してください。

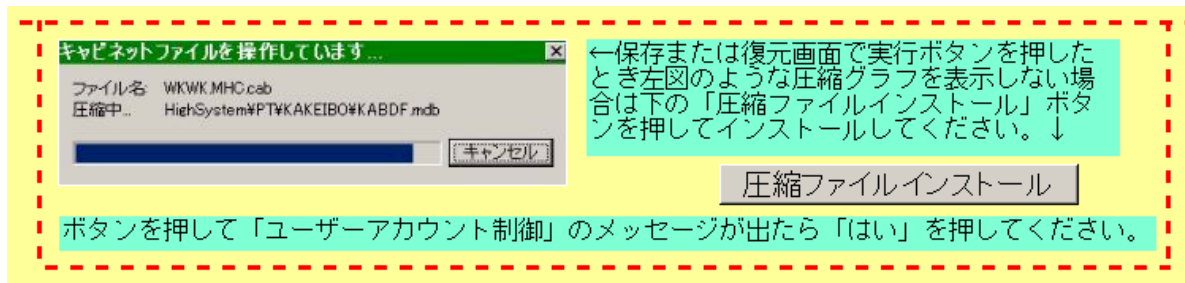
Infosales@maat.co.jp

C 圧縮バックアップ、復元の不具合対策

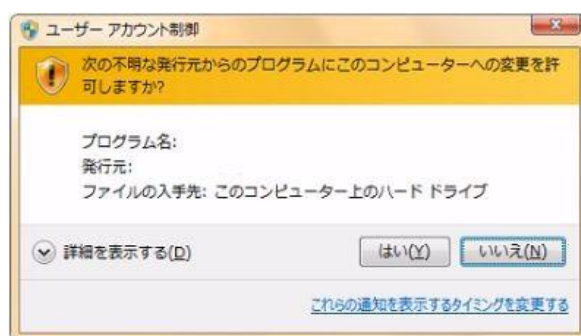
データベースの圧縮は CAB ファイル作成モジュールで実行しますが、それは setupDLL.exe というファイルです。

インストールされたフォルダーからこのファイルをさがしダブルクリックします。

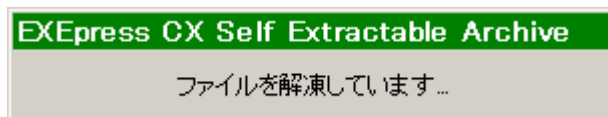
または最新のプログラムの場合は「マスター管理」から「データバックアップ」画面を選択



すると表示される画面の下部に上図のようなエリアがありますので「圧縮ファイルインスト



ール」ボタンを押せば同様にインストールできます。いずれの場合も次に上図の「ユーザーアカウント制御」のメッセージがでますが「はい」を押します。その後、下図がでますが消えれば終了です。終了メッセージはでません。



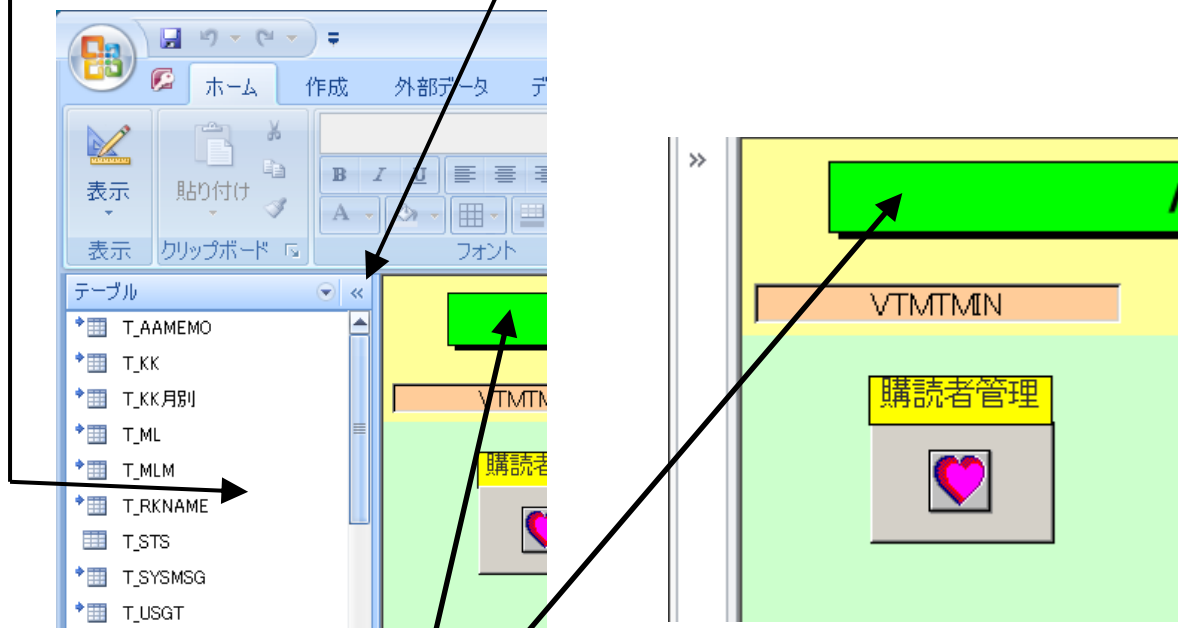
D ナビゲーションウィンドウの表示を格納する方法

Access の製品版では弊社プログラムを起動するとライセンスキーを登録していない場合やデータ復元している場合などに画面の左端にナビゲーションウィンドウを表示する場合があります。

Access Runtime を使用している場合には表示しません。

ナビゲーションウィンドウ

左向き矢印が 2 つの「シャッター バーを開く／閉じる」をクリックするか、F11 キーを押します。

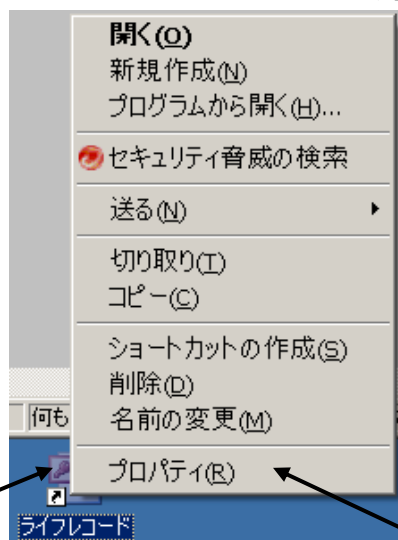


F11 キーは押すたびにナビゲーションウィンドウを閉じたり開いたりします。
または登録ユーザー名タイトル(通常グリーン色のタイトル)をクリックしても格納されます。

E プログラムの関連付けを手動で正しくする方法

弊社プログラムはマイクロソフト社の Access 上で動作します。製品版の Access ではなく Access ランタイムモジュールでも動作します。その Access ランタイムモジュールは弊社プログラムのインストール途中でインストールするかしないかの選択ができます。製品版をお持ちの方は Access ランタイムモジュールのインストールはキャンセルしますが、お持ちでない方はインストールしないと弊社プログラムは動作しません。ただ Access ランタイムモジュールをインストールしても弊社プログラムが起動しないことがあります。それは Access との「関連付け」が正常に作動していない場合があるからです。その場合の対処方法を説明します。

1 パソコンのデスクトップに作成された弊社プログラムのショートカットがあります。名称はそれぞれのプログラムの名称または略称になっています。それをマウスの右ボタンでクリックします。メニューがでますので「プロパティ」の項目を選択します。

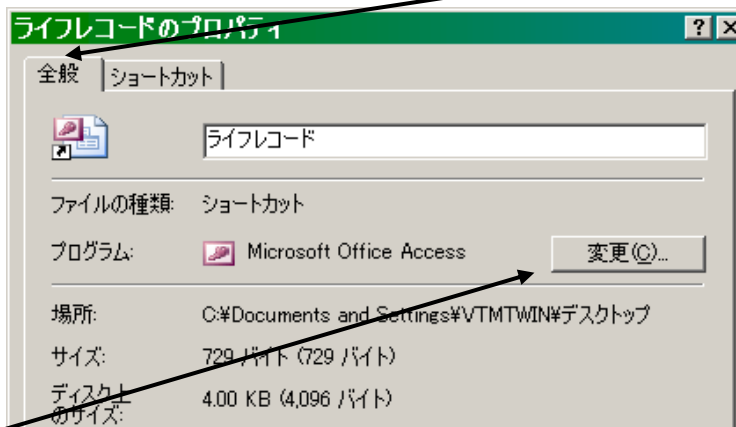


ショートカット

右ボタンのクリックでメニュー表示

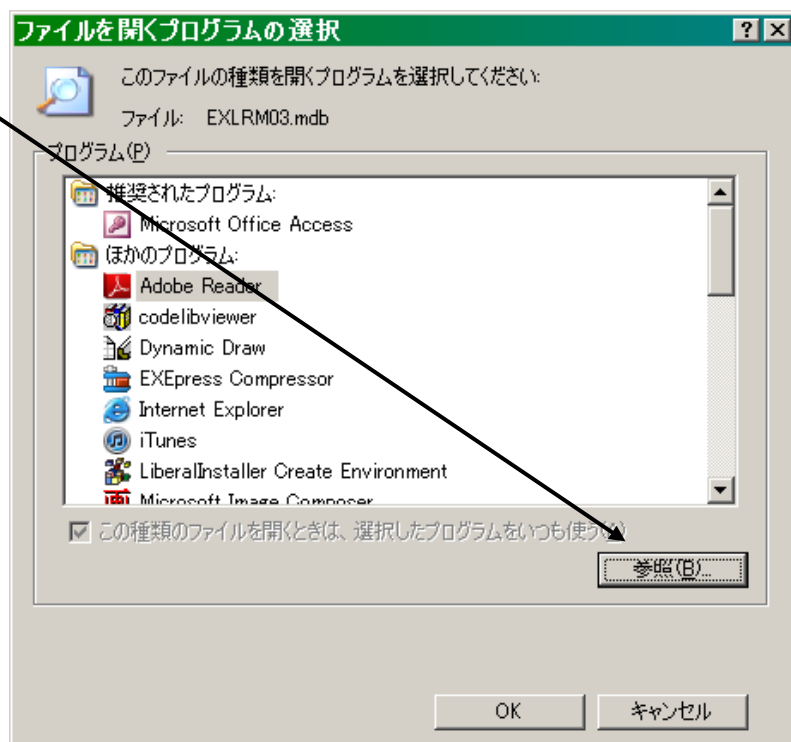
2 プロパティウインドウで「全般」タブをクリックします。

プロパティウインドウが開いたときは「ショートカット」タブになっているので「全般」をクリックして変更します。

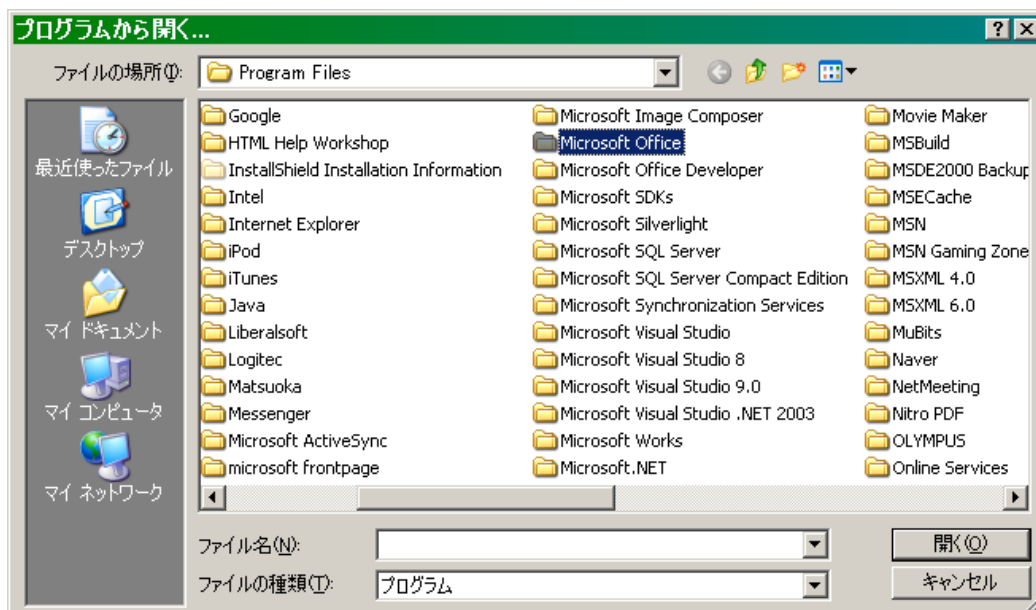


3 プログラムの「変更」ボタンを押します。

4 「プログラムを開くプログラムの選択」 ウィンドウが表示されます。
参照ボタンを押します。

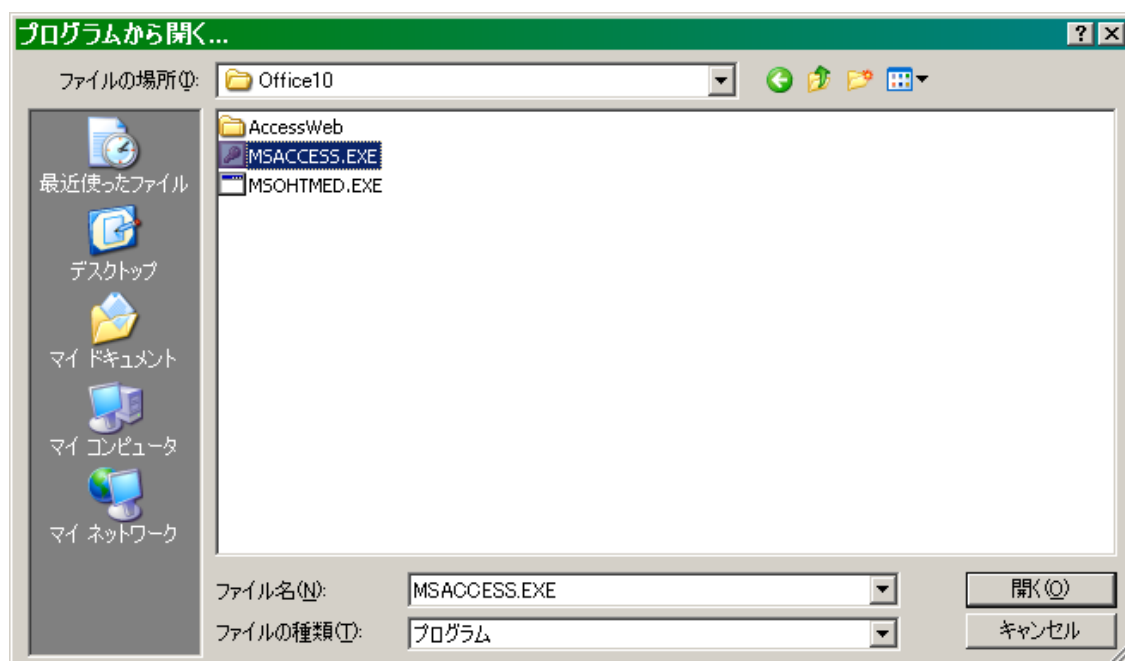


「Program Files」 フォルダが表示されます。



その中の「Microsoft Office」をダブルクリックします。
さらに「Office12」をダブルクリックします。

「Office12」フォルダーの中の「MSACCESS.EXE」をダブルクリックするか「開く」ボタンをクリックすれば完了します。



注意 「Office12」フォルダーは Access 2007 の場合です。「Office13」は欠番、ありません。
Access 2010 の場合は「Office14」フォルダー
Access 2013 の場合は「Office15」フォルダー
Access 2016 の場合は「Office16」フォルダーで実施してください。